

視点を変えて可能性を広げるITの新活用術(第6回)

急にパソコンがフリーズ。容量不足回避の処方箋

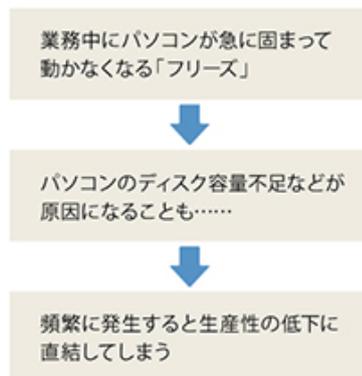
2023.06.20



業務中に突然、パソコンが固まって動かなくなった。こんな経験をした人は多いだろう。企業では生産性向上や業務効率化に役立つ多種多様な業務アプリケーション、業務システムを導入。パソコンのメモリーやディスク容量の消費が増える一方、パソコンにはあまりコストをかけられず、スペックの低いパソコンを使い続けるケースも見受けられる。その結果、パソコンがフリーズなどの不具合を起こし、かえって生産性が低下するといった事態を招きかねないのだ。

ディスク容量不足でOSの更新ができない

フリーズは「凍結」を意味する英語だが、パソコンのフリーズもまさにマウスやキーボードの操作や画面が氷ついたように固まって動作できなくなる状態を指す。特定のプログラムにCPUが専有されることでフリーズを起こすこともある。しばらくするとメモリー処理が終了して解消することもあるが、強制的に再起動する方法もある。ただし、作業中のファイルが保存されずに消えてしまう恐れもあるので注意が必要だ。



フリーズしないまでも、スペックの低いパソコンを使い続けていると、起動に時間がかかる、操作の反応が遅い、基本ソフト(OS)やウイルス対策ソフトなどの更新に時間がかかるなどの不具合が起こることもある。Windowsパソコンのユーザーは、マイクロソフト社が定期的実施するOSの更新(Windows Update)を行う。この更新はセキュリティの強化やプログラムの不具合などを修正するもので必須の作業となる。…
 続きを読む